

## 参考資料 適用候補エリアの周辺状況

### NO.1 JR岩波駅周辺地域生活拠点（1/2）

地域活力維持型・中長期

地区の位置付け（都市計画マスタープランにおける位置付け）

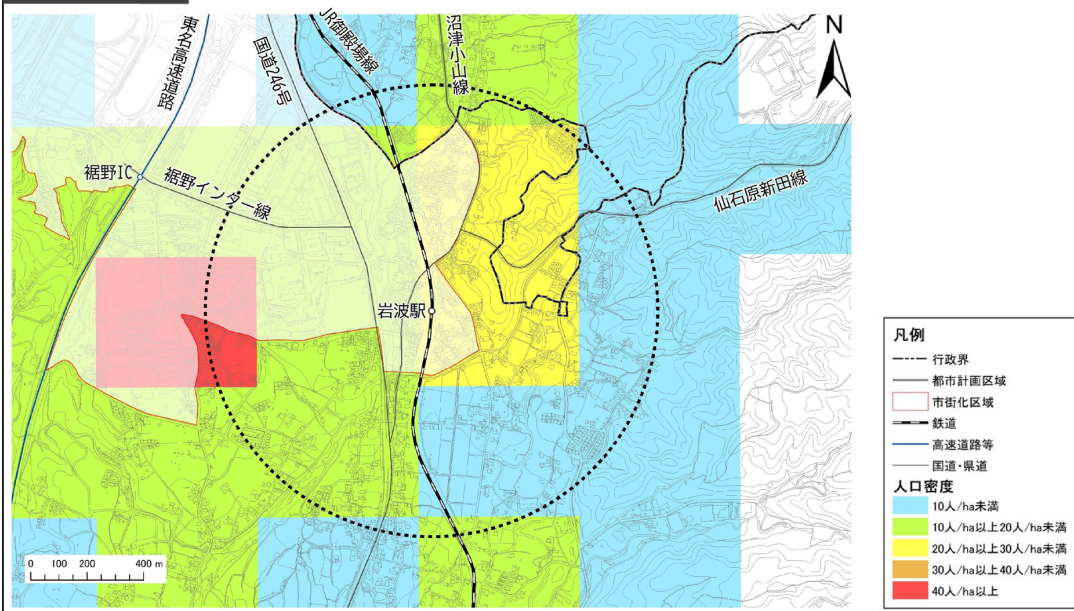
#### 地域生活拠点

公共交通の利便性を備えるとともに、日常的なサービス機能が集積した市民の暮らしやコミュニティ、地域の生活交流の中心的な拠点を形成します。

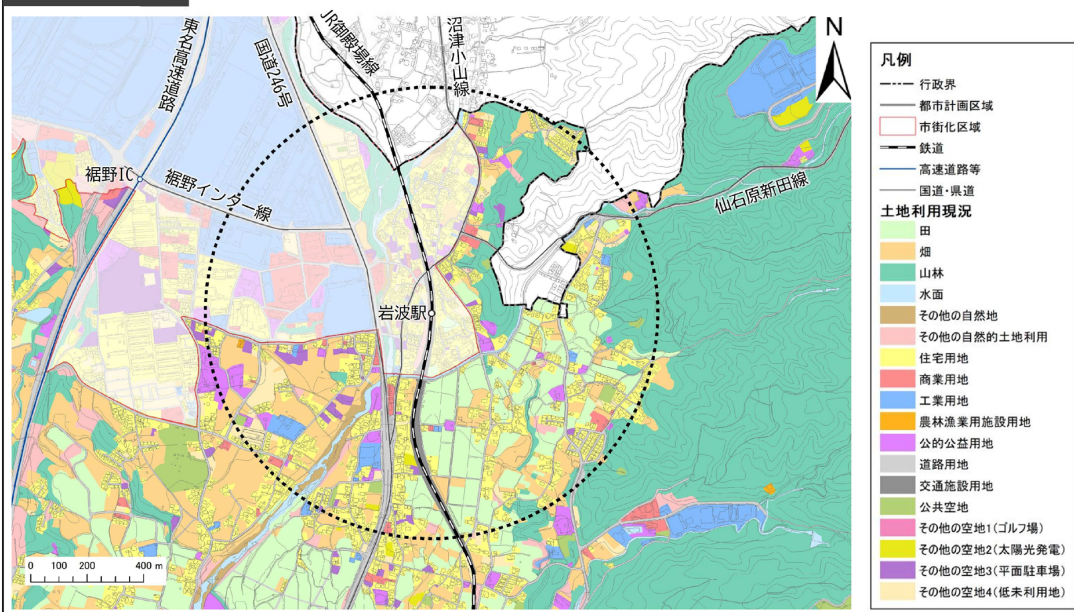
#### 土地利用検討エリア（裾野IC周辺・岩波駅周辺）

職住近接に配慮した住宅地として、市街化区域への編入も視野に入れ、計画的かつ適切な土地利用の誘導を図ります。宅地需要の動向を見ながら、必要な都市基盤整備と都市機能の誘導による産業と連携した地域生活拠点の形成を目指します

#### 人口の分布状況



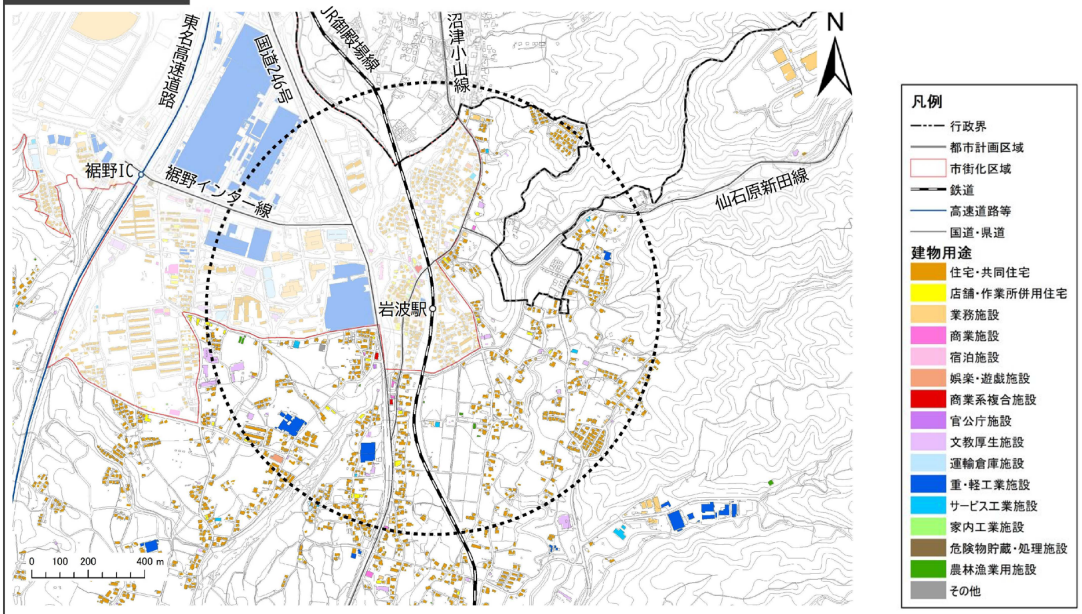
#### 土地利用現況図



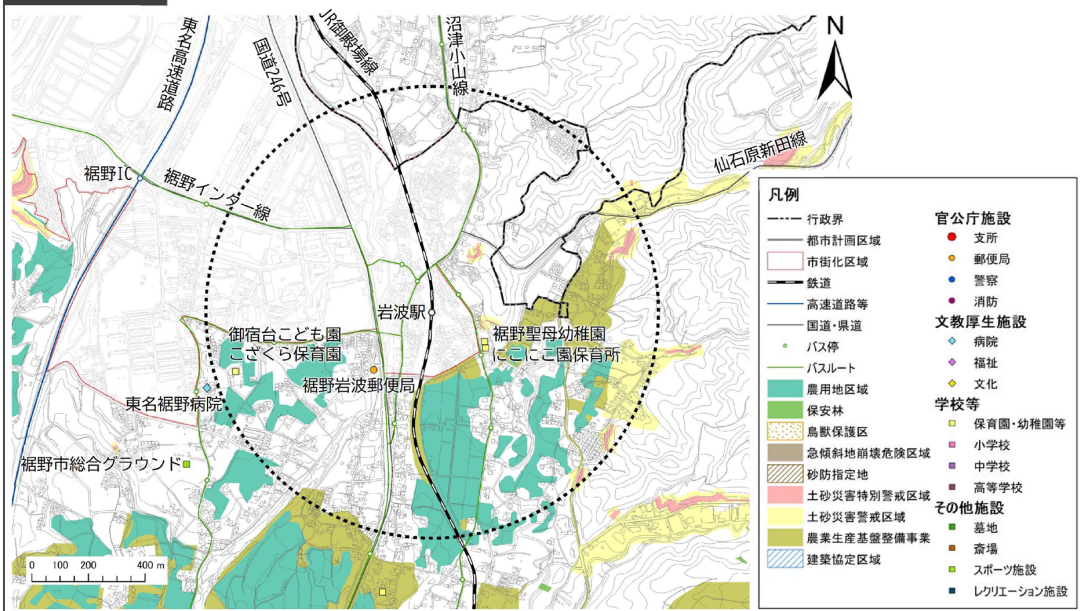
## N0.1 JR岩波駅周辺地域生活拠点（2/2）

地域活力維持型・中長期

## 建物利用現況図



## 地区の概況図



## 地区の現況と課題

地区の中心に岩波駅があり、御宿台こども園、裾野岩波郵便局等が立地し、地区内に複数のバス停とバスルートが通っています。また、国道246号沿道等に住宅が集積しており、人口密度が10～30人/haで一定の人口が集まっていることから、今後も地域活力やコミュニティを維持するため、既存集落の住環境の向上を図る必要があります。